

作者の鱸利彦(1894~1993)は千葉県に生まれ、幼少期に宮崎県に移住。旧制県立宮崎中学在学中に水彩画に触れると、その才能を当時の県知事に見出され、東京美術学校(現在の東京藝術大学)西洋画科に進学しました。晩年までふるさと宮崎の風景を描いた鱸は、1990年に県文化賞を受賞しています。

19世紀末以降、印刷技術の発展や消費社会の到来に伴い、芸術性の高い広告ポスターが数多く制作されました。静かな街角に差した陽光が塀に張り出されたそのようなポスターを色鮮やかに照らし出し、裏通りに明るさをもたらしている本作。鱸の特徴である重厚で温かみのある筆致で描かれています。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

「裏通り」

鱸 利彦 作 (1956年)



History exploration | 歴史探訪!

牧野富太郎が名付けた「ヤッコソウ」

ヤッコソウは葉緑素を持たず、シイの木の根に寄生して発生する5cmほどの植物です。毎年10月中旬～11月中旬頃に発生、徳島県南部を北限とし、九州南部から南西諸島に分布しています。

1852年に奄美大島で既に発見されていたものの命名されておらず、1909年に高知県土佐で発見されたものを、植物学者の牧野富太郎が大名行列の奴に見立てヤッコソウと命名、発表しました。その後研究を進めた牧野は新科「ヤッコソウ科」を創出。牧野が生涯で発見、命名した1500種余りの中でも代表的な植物で、東京都立大学牧野標本館のシンボルマークにもなっています。

ヤッコソウは海岸から約10km以内に発生するとされていますが、約30km離れた高城町石山などで確認されていて、県内で最も内陸にあり大変貴重なことから、平成27年に市の指定文化財(天然記念物)に指定しました。

※ハチに注意し、花には触れないください



学名 Mitrastemon yamamotoi Makino (ミトラステムン ヤマトイ マキノ)

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

源氏物語図屏風(上:右隻、下:左隻)

都城市立美術館
伝承館
だより

「源氏物語図屏風」

華やかな貴族文化が盛行した平安時代。その平安王朝の雅への憧れを強くしていた江戸時代の人々は、源氏物語などを基にした多くの屏風や書物などの作品を制作しました。

京都の相国寺にある源氏物語図屏風もその1つであると考えられていて、左隻に「若紫」や「浮舟」、右隻に「初音」や「胡蝶」など物語の各場面が金雲に仕切られて描かれています。それぞれの場面が丁寧に細かく彩色されていることや、盛り上げて著色(着色)された金雲に菊菱の紋様が押されていることで、華やかさが増しています。

また、一説によると源氏物語の主人公である光源氏は島津荘の所有者であった藤原頼通の父・道長がモデルになったといわれています。本屏風は、そんな道長ら平安貴族の様子をうかがい知ることができる興味深い史料でもあります。

※本史料は、11月26日(日)まで開催中の都城島津伝承館特別展で展示中

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116



森裕太郎代表取締役

「みそカツ」専門店として、製造・販売を手がける有限会社森精肉店。昭和52年、町の小さなお肉屋さんとして森浩一取締役会長が創業しました。付加価値のあるオリジナル商品を作ろうと、浩一会長が両親と考案したのが「みそカツ」。門外不出のレシピで作るみそだれが醸し出す味わいが、当時口コミで人気を呼びました。「お客様がお歳暮などの贈答品として全国各地に商品を広めてく

れた。お客様に育てていただいた会社です」と浩一会長は語っています。さらに、商品の真空パック化や宅配便のチルド輸送開始が同社の飛躍を後押しし、約15年前にみそカツ専門店へと舵を切りました。

子どもの頃から、同社を切り盛りする両親の背中を見てきた森裕太郎代表取締役。金融機関での勤務を経て7年前に家業に入り、令和4年8月に父である会長から会社を引き継ぎました。より良い職場環境を目指して、シフト制や変形労働時間制を導入するなど、働きやすい仕組みづくりに取り組んでいます。

「各業務を率先して取り組んでくれる従業員に支えてもらっている。これからも、みんなが笑顔で働ける職場でありたい」と語る裕太郎代表取締役。その瞳には、長年愛される「みそカツ」を継承し、未来へつなぐ力強い意思が輝いていました。



秘伝のみそだれで漬けた「みそカツ」。とんかつのように揚げて食べるのもおすすめ。

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.38

有限会社森精肉店

☎22-3223

今月の読者プレゼント



クリスマスチキン4本セット 5人

プレゼント提供事業者

鶏処きじや(牟田町10-11号ALEZA1階) ☎080-2748-3456

鶏肉専門店から、本格若鶏骨付きもも肉をプレゼント。ローストチキンと塩にんにく味チキンがセットになった、特別な日にぴったりの一品です。※12月19日(火)～21日(木)の16時～18時に冷凍で受取可能な人に限ります。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、11月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 11月30日(休) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙1月号
- ◎9月号当選者 田原久美子さん ほか2人
- ◎9月号応募総数 201通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

POST CARD

63円切手をお貼りください

8 8 5 8 5 5 5

都城市役所 秘書広報課 行

(広報都城 No.215 2023年11月号)

フリガナ

氏名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住所 □□□□□□

電話番号 () -

▶点線に沿ってお切りください(郵便はがきでも可)

私の夢

はしもと わくさん 西小6年
橋元 湧さん

ドッジボール日本代表になって
楽しみながらプレーしたい！



都城市現住人口

| 令和5年10月1日現在 | 前月比 | 前年比 |
|--------------|------|--------|
| 世帯数 72295世帯 | (59) | (405) |
| 人口総数 158114人 | (56) | (-663) |
| 男性 74327人 | (62) | (-299) |
| 女性 83787人 | (-6) | (-364) |

スマートフォンからも統計情報を確認できます。



※令和2年国勢調査に基づく推計人口

編集後記

ワールドカップ W杯に続きドイツを破るなど、成長著しいサッカー日本代表。Jリーグ発足から30年、欧州の強豪クラブで活躍する選手も数多い中、道を切り開いたのは広大な海原へ航海に乗り出したレジェンドたち。何事にも通じますが、広報紙も「先人の歩みを受け継ぎ今を築く」気持ちで作成しています。改めてこれまでの先任の皆さんに感謝。(博)

取材を通して、特定の分野に精通している人や地域のために活動している人にお会いする機会があります。情熱を持った方々の話に毎回惹きつけられ、これまで触れることが少なかった分野にも興味が湧くなど世界が広がる感じがします。受け取った熱い思いを読者の皆さんにしっかり届けたいと日々奮闘しています。(奈)

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。私たち広報担当は「広報の秋」を満喫しています。イベントが多いこの季節、取材が増えることはもちろんですが、次号の特集記事作成に向けて既に奔走しています。皆さんに読んでいただける広報紙を作成する責任を感じながらも、取材先での出会いや発見に胸が躍る秋です。(つ)

都城フィロソフィ[®]

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第2章 全員の心を一つにする

笑顔で仕事に取り組む

仕事は決して楽しいことばかりではなく、苦しいことやつらいこともあります。

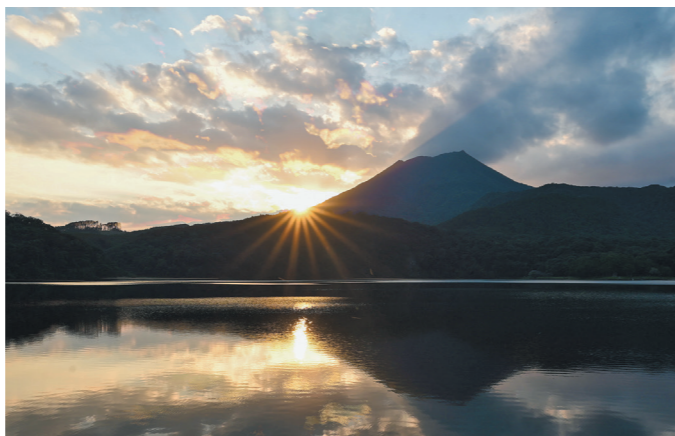
しかし、苦しいときやつらいときこそ、成功する未来を想像し、笑顔で仕事に取り組まなければなりません。

笑顔には、自分だけではなく、周りを元気にする力もあります。全員の気持ちを一つにして仕事に取り組むためには、笑顔の相乗効果は欠かせません。

また、笑顔でいると、良いことが自然と舞い込んでくるものです。

都城市役所は、日々、笑顔あふれるまちの実現を目指しています。ポジティブに仕事に取り組み、市役所から笑顔を発信することで、都城市の元気をつくり出していきます。

届けたい都城の風景



「御池に映る夕陽」(御池町)



「歌舞伎橋から望む歴史資料館と日豊本線」(都島町)

まちなかを包み込む色とりどりの光
本市の冬の風物詩となった「都城まちなかイルミネーション」約120万球のまばゆい光がまちなか全体をさらびやかに彩ります。音楽に合わせてイルミネーションが変化する演出などに加え、今年は今シーズン初の噴水ライトアップの復活やポケモンの人気キャラクターであるナツシーとのコラボレーションなど、ますます充実しています。



まちなかイルミネーション 2023

- ◎期間 11月18日(土)～1月14日(日) 17時～22時 ※11月18日のみ18時～
- ◎場所 Mallmall、ウエルネス交流プラザ、ワンパーク、周辺の商店街、西都城駅、都城駅など
- 【点灯式】
- ◎日時 11月18日(土) 17時45分～18時
- ◎場所 Mallmall まちなか広場

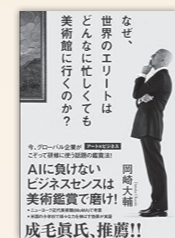


新刊紹介

おすすめ図書 ◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



ピエールくんは黒がすき！
ミシェル・パストロー (文)、白水社(出版)
真っ暗な夜やおおかみが怖いピエールくん。ある日、パパと美術館でスーラージュという画家の絵を見ました。絵に近づくと、黒の中に青や白、灰色、金色や黄色が見えてきて…。



なぜ、世界のエリートは忙しくても美術館に行くのか？
岡崎大輔(著)、SBクリエイティブ(出版)
作者名などの情報を入れず、じっくり自由に作品を解釈するメソッドを紹介。アート作品を通して人生や仕事に役立つ能力を伸ばす美術鑑賞法を解説します。

【市立図書館】 ●休館日/11月6日～10日(蔵書点検)
●開館時間/9:00～21:00

【高城図書館】 ●休館日/11月7日・14日・19日・21日・23日・28日、12月5日
●開館時間/9:30～18:00

まちなか de わくわく

高校生が届けるアルフォンス・ミュシャ展 バナーデザインプロジェクト

都城工業高校インテリア科の2・3年生80人が、市立美術館で開催中の「アルフォンス・ミュシャ展」をPRするバナーフラッグのデザインに挑戦しました。本プロジェクトの様子や生徒らのデザイン画などを12月3日(日)まで市立図書館に展示しています。特別賞を受賞した米満音彩さん(2年生)の作品を基に制作したバナーフラッグも展示しています。ぜひ来館ください。

◎問い合わせ
市立美術館 ☎25-1447
市立図書館 ☎22-0239

